

提出日：西暦 2013 年 6 月 20 日

社外研修報告書

弁護士法人 名古屋総合法律事務所  
報告者：堀口 佑美

研 修 テ ー マ	プロに学ぶ演劇講座
主 催 者	日本演出者協会東海ブロック
受 講 場 所	原ターミナルビル4階 天白文化小劇場
受 講 期 間	2013/6/19(水)19:00 ~ 21:00
研 修 内 容	<p>①円形になり、お手玉を渡そうとする人の名前を呼び、その人が返事をしてからお手玉を渡すゲーム</p> <p>②3グループに分かれ、スローモーションの50m走で何らかのドラマを作る。 手順としては、 ア:ドラマの中で、3点ポイントとなる点を決め、各時点で全員静止する。 イ:その3点を含めたドラマをスローモーションで演じる。 ウ:同じドラマを通常の速さで演じる。 という流れで進められた。</p> <p>③②と同様3グループに分かれ、四字熟語のタイトルを決めたうえで、 ア:起承転結のポイントを決め、各時点で全員静止する。 イ:各起承転結を含めたドラマを演じる。</p> <p>④3グループに分かれ、エレベーターの中に閉じ込められたという設定で、即興で演じる。</p>

<p>研 修 の 成 果 及 び 感 想</p>	<p>①は研修の開始によく行うゲームであり、コミュニケーション能力や集中力を養い、位置関係を把握するのに役立つらしい。</p> <p>②及び③を通じて講師が言っていたのは、ドラマの脚本というのは、</p> <p style="text-align: center;">タイトル ↓ 起承転結 ↓ つなぎ ↓ 不自然な部分の修正</p> <p>でできるということ。脚本の作成が、そんなに難しいものではないことを知った。</p> <p>④は、グループの中で自分がどのような位置におり、どのような役割を果たすかの練習。打ち合わせが出来ないため、一人が目立ちすぎてしまったり、誰かの次につながりそうなセリフを拾うことができなかつたりで、なかなか難しかった。</p>
<p>受 講 者</p>	<p>堀口佑美</p>